

百道浜の今昔



先行整備のタワーと博物館★



よかトピア通り 昭和61年



西部ガスミュージアムなどのパビリオン★



よかトピア 夏木まり主演ミュージカル・ヒミコ

シーサイドももちは、事業費約1,500億円を投じて、福岡市港湾局が昭和57年4月に着工、昭和61年9月に百道浜・地行浜地区の埋め立て工事が竣工しました。

シーサイドももちは、早良区及び中央区にある埋め立てによるウォーターフロント地区で、早良区の百道浜一丁目から四丁目、中央区の地行浜一丁目・二丁目全体を指します。

本埋立地において、市制施行100周年を記念して平成元年3月から9月まで「アジア太平洋博覧会」が開催されました。



建設中の福岡タワー

福岡タワーは、福岡タワー(株)が経営するシーサイドももち地区内のランドマークタワーで、高さは234mです。

日本で一番高い海浜タワーでもあります。

1989年のアジア太平洋博覧会(通称:よかトピア)にあわせて建設されました。



アジア太平洋博覧会(よかトピア)会場★

アジア太平洋博覧会、通称よかトピアは、アジアおよび太平洋地域をテーマとした博覧会として、国内から1,056企業・団体が、国外から37か国・地域と2国際機関が出展参加し、43館(国内33館、外国10館)のパビリオンが設置されました。

よかトピアに合わせて建てられた福岡タワー・福岡市博物館・西部ガスミュージアムなどはそのまま残り、会場跡地は住宅地や商業地、公園などとして整備されました。